

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	第二暁愛児園
活動日時	令和6年10月23日(水)
活動参加人数	6人
クラス名(年齢)	たんぽぽ組(0歳児)
年間テーマ	自然

1. 活動のテーマ

<テーマ>

秋の自然 落ち葉の音を楽しむ

<テーマの設定理由>

色々な音に興味を持ち始めたので、自然の中の音で、身近にある落ち葉を取り上げて楽しんでみた。

2. 活動スケジュール

- ・日野宮神社の参道へ散歩に出かけ、探索活動を楽しむ。
- ・ケヤキ・モミジの落ち葉を持ち帰り、手に落ち葉と同じ色の絵の具を付けて見立て遊びを楽しんだ。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・室内の活動の中に、鈴の音やテーブルを叩く音・ペットボトルの音・紙を丸める時の音など子供たちが、自分でできる音を出して楽しんでから、落ち葉(ケヤキ)を握りつぶして・公園の探索活動へと促してみた。

素材・道具・・・楽器・ペットボトル・包装紙・ケヤキの枯れ葉・ビニール袋
絵の具・筆・パレット・色画用紙

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

参道に落ちているサクラ・ケヤキ・モミジ等の上を、子供たちに歩いてもらい音が出る事を知らせる。 落ち葉を投げ上げてたのしんだり、寝転がったりして楽しんだ。

<活動中の子供の姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

・参道を歩き出した途端に「葉っぱ いっぱい！」と走り出す子供たち。転んでも直ぐに起き上がり両手についた落ち葉を払っても、なきません。みんなえがおです。
手にのせたケヤキの枯れ葉をつぶすと「やりたい！やりたい！」と集まってきました。
子供たちの手に、サクラ・ケヤキなどの落ち葉をのせてあげると、勢い良く握りつぶして「バリバリだねー！」と保育者のまねをする男児。まだ、おしゃべりのできない女児たちも、「・・ねー！」と顔を覗き込んできます。

帽子の上に落ち葉を乗せると「パラパラ・・」と手で払落して楽しんでいた。保育者が葉っぱの上に座ると、寝転んではしゃぎだす。

「いっぱい音がするね」と声を掛けると「いっぱい！いっぱい！」と手足をバタバタさせて音を楽しんでいた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

木の葉は、保育者が音を出してあげないと、興味を示さないと思っていたが、保育者よりも先に、音を出して遊ぶ子供たちに驚いた。
やっとおしゃべりができる子供たちが自分から「落ち葉の音まね」を始める姿をみて自然のもつ力を改めて感じる事が出来たお散歩でした。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	第二暁愛児園
活動日時	令和6年12月17日(火)
活動参加人数	5人
クラス名(年齢)	たんぽぽ組(0歳児)
年間テーマ	自然

1. 活動のテーマ

<テーマ>

・ どんぐりを探そう

<テーマの設定理由>

・ 公園で遊んでいて、芝生の中や土に埋もれたどんぐりを見つけて大喜びの子どもたち。そこから探索活動が始まった。

2. 活動スケジュール

・ 公園の落ち葉の下や土の中から、コナラ・マテバシイなどのどんぐりを見つけ出す。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・ 土に埋もれたどんぐりを探す時は、どんぐりのたくさんある所へ誘導し、座らせてどんぐりに気づきやすくした。
- ・ 見つけたどんぐりを、透明のビニール袋に入れて、みんなで一緒に見れるようにした。
- ・ 準備物・・・透明のビニール袋

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・土や落ち葉の中からどんぐりを見つける探索活動を楽しむ。
- ・見つけたどんぐりを公園のベンチやテーブルに並べてみんなで見る（割れている事に気付く等）

<活動中の子供の姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

・探索場所へ到着すると直ぐに、どんぐりを見つけた女児が「あった！あったよ！と小さな潰れたどんぐりを見せてくれた。「すごいねー」と声を掛けると「うん！」と頷きながら笑顔みせる。「どこかなあ どこかなあ？」としゃがみ込んで探す姿がありました。なかなか見つけられない男児の手の平に、どんぐりを乗せると「やったー！」と大はしゃぎ。何度も手の中のどんぐりを確認していた。

コンクリートのテーブルにどんぐりを並べてみんなで見ていると、「赤ちゃんだよ」「こわれてるー！」など賑やかです。

帰園の時間になり「どんぐりさんとバイバイしようね」と促すと、「バイバイ」とテーブルから払落し、見つけた所にもどそうとする女児の姿もありました。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・土の中からどんぐりを探して遊ぶとは、思ってもみませんでした。子供ならではの目線だなあと改めて感心しました。また、どんぐりを元の場所に戻そうとする姿に驚きました。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	第二暁愛児園
活動日時	令和7年2月27日(木)
活動参加人数	6人
クラス名(年齢)	たんぽぽ組(0歳児)
年間テーマ	自然

1. 活動のテーマ

<テーマ>

・春の花(タンポポ)を探そう。

<テーマの設定理由>

・春になり歌や絵本などに登場する事のおおくなったタンポポの花を探してみよう。

2. 活動スケジュール

- ・池堀公園へ行きタンポポを探して観察してみよう。
- ・他の花や虫たちがいないか探索してみよう。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・部屋の装飾としてタンポポの花を制作し飾ってみたら、作り物のタンポポを手に持って遊んでいるので実物のタンポポを探してみる事になる。
- ・植物図鑑などでタンポポの花を確認した。一緒に春になると出て来る虫なども確認する。

準備物 ・色画用紙・ストロー・ビニールテープ・植物図鑑

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・公園でタンポポの花や、他の春に咲く花・虫を探して遊ぶ。
- ・小高くつまれた土山に、登ったり下りたりして遊ぶ。

<活動中の子供の姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

・池堀公園に着き芝生に座って休憩していると、カラスノエンドウの葉先に、小さなテントウムシを見つける。「テントウムシがいるね」と指さすと集まって、のぞき込む子供たち。赤に黒い点々のナナホシテントウムシ。

男児が「いる!」「いるねー!」と指で指し示そうとすると、飛んでいってしまった。「あーっ!」と声を出し泣き出してしまう。「どこ?」「どこ?」と探すが見つけれなかった。子供たちと一緒に這いつくばって探す、みつけるのは、オオイヌノフグリばかりです。「テントウムシはバイバイだね」と声をかけると『バイバイ!』と手を振る子供たちでした。探していると女兒が「お花 あったよ」とグリーンスナップをみせてくる。探していたタンポポではないが、子供たちは大喜び。グリーンスナップの周りに集まり、ちぎってみたり、頭にのせたりと興味津々。テントウムシもタンポポも忘れてしまった子供たちでした。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

・部屋の中だと軽く転んでも大泣きする子供たちですが、公園の芝生の上や、雑草の上では、転んでも滑り落ちても、笑顔の子供たち。

部屋の中では玩具の取り合いがおおいが、公園では、見つけたグリーンスナップを分けてあげる姿、転んで帽子に着いた雑草を払ってあげる姿など、0歳児では見られないような姿を目にすることができた。自然の中にいることで得られた力ではないかと思う。